

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年3月14日 (2013.3.14)

【公開番号】特開2012-143242(P2012-143242A)

【公開日】平成24年8月2日 (2012.8.2)

【年通号数】公開・登録公報2012-030

【出願番号】特願2012-71880(P2012-71880)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)

C 1 2 N 5/09 (2010.01)

C 0 7 K 14/82 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 P 21/02 C

C 0 7 K 16/28

C 1 2 Q 1/68 A

C 0 7 K 19/00

C 1 2 Q 1/04

C 1 2 N 5/00 2 0 2 U

C 0 7 K 14/82

G 0 1 N 33/574 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月29日 (2012.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

【図 1】図 1 は、ヒト Out at First のポリヌクレオチド配列を示す（配列番号 1）。

【図 2】図 2 は、配列番号 1 によってコードされるアミノ酸配列を示す（配列番号 2）。

【図 3】図 3 は、推定シグナルペプチドを示す（配列番号 3）。

【図 4 A】図 4 A は、配列番号 1 の翻訳を示す（配列番号 1、ポリヌクレオチド；配列番号 2、アミノ酸配列）。

号 2、アミノ酸配列)。

【図 4 B】図 4 B は、配列番号 1 の翻訳を示す (配列番号 1、ポリヌクレオチド；配列番号 2、アミノ酸配列)。

【図 4 C】図 4 C は、配列番号 1 の翻訳を示す (配列番号 1、ポリヌクレオチド；配列番号 2、アミノ酸配列)。

【図 4 D】図 4 D は、配列番号 1 の翻訳を示す (配列番号 1、ポリヌクレオチド；配列番号 2、アミノ酸配列)。

【図 5】図 5 は、腫瘍細胞株およびこれらの細胞から作製された S C I D マウス由来の腫瘍組織における、 β -アクチンに対する h s O A F の発現を示す。「P T」は、原発性腫瘍をいう。

【図 6】図 6 は、未処理細胞 (W T) に対する、アンチセンスオリゴ (配列番号 4) (6 6 - 2 a s) または逆方向コントロール (配列番号 5) (6 6 - 2 r c) を用いた処理の後の、軟寒天における M D A - M B - 4 3 5 細胞によるコロニーの増殖を示す。

【図 7】図 7 は、ヒト O A F アミノ酸配列 (配列番号 2) と D r o s o p h i l a O A F アミノ酸配列 (配列番号 6) との整列である。

【図 8】図 8 A は、C O S - 7 細胞株および M C F - 7 細胞株中の h s O A F タンパク質の発現を示す。図 8 B は、乳腺癌 (m a m m o r y c a r c i n o m a) 細胞株における h s O A F タンパク質の発現を示す。

【図 9】図 9 は、正常ヒト組織中の h s O A F の発現を示す。

【図 1 0 A】図 1 0 A は、アンチセンスオリゴ (配列番号 4) を用いた処理後に M D A - M B - 4 3 5 細胞中に見出される形態学的変化を示す。A S = アンチセンス；R C = 逆方向コントロール (配列番号 5)；M = 馴化培地。

【図 1 0 B】図 1 0 B は、A S、R C および R C + M を用いた M D A - M B - 4 3 5 細胞の処置後の、細胞の侵入を示す。

【図 1 1】図 1 1 は、ヒト O A F の推定シグナル配列を示す (二重下線)。

【図 1 2】図 1 2 A および図 1 2 B は、アンチセンスオリゴ (配列番号 4) または逆方向コントロールオリゴ (配列番号 5) を用いて処理された M D A - M B - 4 3 5 細胞による、h s O A F の分泌を示す。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】

F 1 MRPG-----VPLAR 10
1 MILKEEHPHQSIETAANAARQAQVRWRMAHLKALSRTTTHAHGNCCGRVSVKNHFFKHSR 60

F 11 PALLLLPLLAPELLGTGAPAELEHVRRLPDGQVTEESLQADSDADSSISLELRKPDGILVS 70
61 AFLWFLLCNLVMNADAFASQLINVOGGEVITQESTISNIGEDLITLFFCKTDGILIT 120

F 71 FTADIKKDVKVFRAILGELKKGQSQFQALCFMTQLQHNEIIPSEAMAKLRQKNPRAVRQ 130
121 QVIDIRNEVQILKALVLGEFKRGQSQYQVMCFATKFNKGDHSSAAMAKLRQKNPHTIRT 180

F 131 AEEVRGLEHLHMDVAVNFSQGALLSPHLHNVC AEAVDAIVTRQEDVRFWLEQ-GVDSSVF 189
181 REEDKGRFTFTMSSWQLNRSLEPIRHLQGLCAEAMDAIVVRQDLKAWAELESSISSL 240

F 190 KALPKASEQAELEPCROVGDGRKPCVCHYGLSLAWPCM LKVCHSR-----D----- 236
241 KAATEKFPDILSTRQNEVSSLWAPCLCNLETCIHWVPCGLKVCKGKGVAGADSSGAQQA 300

F 237 RPTPVKCGIRSCOKSYSDFFVVPORQLCWDEDPYPG 273 (配列番号2)
301 QPTNVRCGIKTCRKCTQFTYVVRQKQCLWDE 332 (配列番号6)

Fig. 7

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】配列表

【補正方法】追加

【補正の内容】

【配列表】

2012143242000001.app